

| | | | | |
|--------------------|---|------|------------|-------|
| GE-1-i-07 | A 共生社会と人間 | 第1学年 | 後期 選択必修 | 1.5単位 |
| 担当者 | 秦 澄美枝 | | | |
| 一般目標 (GIO) | “人間として” 異性・異民族から広く地球全体の自然と共に生きる理念を大系化する。 | | | |
| 到達目標 (SBOs) | 国際社会に生きる地球人として、いかなる人間とも地球の自然とも共生できる理念を確立する。 | | | |
| 受講心得・準備学習等 | 異性や他民族への偏見を持たず、地球全体の中でのひとつの生命体である自己を確認しておく。 | | | |
| 事後学習・復習等 | 講義やテキストをもとに自己を客観化し、自分の在り方を考える。 | | | |
| オフィスアワー | 講義の前後に質問を受け付ける。 | | | |

授業の形式と各回の内容

| 授業の形式 | | 講義形式 |
|-------|----------------|--------------------------|
| 回 | 項目 | 内容 |
| 1 | 概論 | 〈共生〉の概念から14回授業全体の説明 |
| 2 | 〈個〉の〈人間として〉 | 〈人間として〉ある〈個〉の意識を覚醒 |
| 3 | 〈共生〉の概念 | 〈個〉が他者と〈共生〉する意義 |
| 4 | 異性との共生 | 特に〈個〉が〈異性〉と共生する意味 |
| 5 | 異民族との共生 | 〈異民族〉同志での共生の重要性 |
| 6 | 自然との共生 | 〈人間〉と〈自然〉との在り方 |
| 7 | 地球全体との共生 | 〈地球全体〉の中で生きる〈個〉の在り方 |
| 8 | 学生が考える〈個〉と共生 | 学生一人一人の考える〈共生〉をプレゼンテーション |
| 9 | 〃 | 〃 |
| 10 | 〃 | 〃 |
| 11 | 〃 | 〃 |
| 12 | 〈共生社会〉への弊害 | 〈国際社会〉の全体に弊害となるものとは |
| 13 | 〈共生社会〉へ求められるもの | 弊害をとり除いて未来へ求められる理念 |
| 14 | 〈共生社会と人間〉をまとめる | 半期間の授業の成果を考える |

| | |
|----------------|---|
| 成績評価の方法 | 半期間の2回的小レポートにより評価 |
| 成績評価の基準 | 半期間の2回的小レポートが75%以上で合格とし、時に応じて発表についての評価も成績に加算。 |
| 教科書 | 受講人数と、受講生たちの受講理由を受けて、適宜、担当教員の著書の中から選ぶ。 |
| 参考書など | |